

兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会（中間報告）

1 委員名簿

区分	役職	氏名
有識者	兵庫県災害医療センター顧問	鵜飼 卓
	兵庫県病院協会会長	守殿 貞夫
	伊丹市病院事業管理者	中田 精三
	ホスピタルマネジメント研究所代表	谷田 一久
関連大学	大阪大学大学院医学系研究科長・ 大阪大学医学部長	澤 芳樹 【委員長】
地元関係者	西宮市医師会会長	大江与喜子
	西宮コミュニティ協会会計理事	白川 清
医療行政	兵庫県健康福祉部医監	山本 光昭
	西宮市健康福祉局長	土井 和彦
病院関係者	兵庫県立西宮病院長	河田 純男
	西宮市病院事業管理者	南都 伸介
オブザーバー (第2回～)	兵庫医科大学病院長	難波 光義
	兵庫県民間病院協会 副会長（西阪神支部長）	大村 武久

(計 13名)

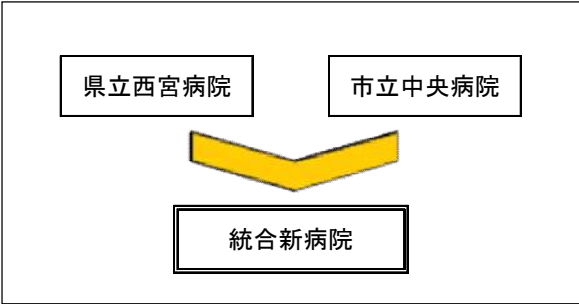
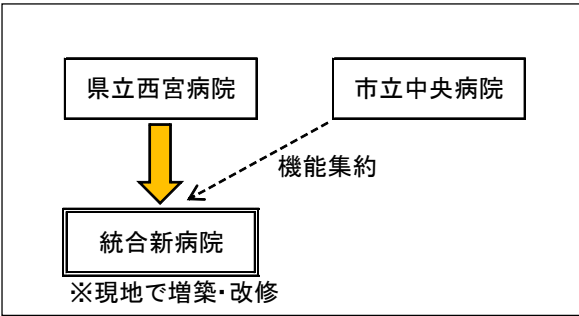
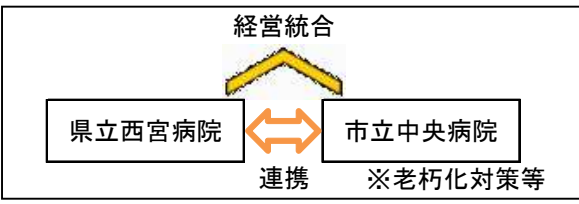
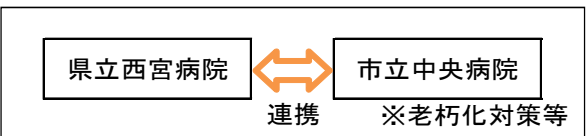
2 スケジュール

年月	委員会開催	検討項目等
平成 28 年 4 月 26 日	第 1 回 委員会	○「西宮市域における県立西宮病院と西宮市立中央病院の 現状と課題に係る意見交換会」の取りまとめ報告 ○委員会の検討項目と今後のスケジュール
8 月 1 日	第 2 回 委員会	○阪神南・北医療圏域における医療の現状等 ○両病院の診療機能、診療体制等の現状と課題
11 月 11 日	第 3 回 委員会	○今後の阪神南・北医療圏域の医療提供体制のあり方 ・検討委員会報告（素案）
平成 29 年 ○月○日	第 4 回 委員会	○今後の阪神南・北医療圏域の医療提供体制のあり方 ・検討委員会報告（案）

3 検討委員会報告書の構成（案）

- (1) 阪神南・北医療圏域の現状と課題
- (2) 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題
- (3) 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方について

4 両病院の今後のあり方（第3回検討委員会における事務局提示案）

区分	今後のあり方
統合	<p>両病院を統合し、新用地に新病院を整備する。</p> 
統合再編	<p>市立中央病院の機能を県立西宮病院に集約した統合新病院を設置する。 ※県立西宮病院は増築・改修工事を実施</p> 
経営統合	<p>両病院は経営を統合した上で存続（併存）し、機能分担と連携を行う。</p>  <p>※市立中央病院は老朽化対策による長寿命化を実施</p>
連携	<p>両病院は診療機能の見直しを行った上で、存続（併存）し、役割分担と連携の一層の推進を行う。</p> 

西宮の病院統合再編で検討委

事務局から4案提示

「兵庫県立西宮病院」と西宮市立中央病院のあり方検討委員会」の第3回会合が11日、西宮市役所であり、両病院を統合再編する案や経営統合する案など事務局から4案が示された。来年2月までに4案から絞り込み、報告書にまとめる予定。

会議は今年4月からスタート。両病院関係

「兵庫県立西宮病院」と西宮市立中央病院の公開で協議し、終了後事務局が内容を明らかにした。県と市の事務局側が示したのは4案。①両病院を統合し、新たな用地に新病院を建てる ②県立西宮病院を増改築した新病院を設置③経営を統合した上で、両病院を存続させる④両病院を存続させる④より一層の連携を進める一だった。事務局によると、委員の意見や質問が集中したのは①と②の「統合再編案」。それぞれのメリット・デメリットが説明されると、委員から「医療面だけでなく、住民自線でも必要な病院が必要かを考えるべき」「遺伝子治療など将来の先進医療への対応も必要」など、統合を視野に入れた議論があったという。

(前川茂之)